

## 公募教育委員 第二次選考（市長面接）概要

- 市長** 教育委員としてどのような役割を果たしていきたいとお考えですか、ご自身のお考えをお聞かせください。
- 小辻** 多様性など教員も様々な課題に向き合っていく必要があります。これまで、社会考察やまちづくり活動で行ってきた研究を活かし、先生方が困っていることを一緒に考え、どうすれば多様性を包摂できるような教育ができるのか教育委員の一員として考えていきたい、また、草津市の「こどもまんなか」をつくっていきたいと思います。
- 市長** これまで社会教育委員や NPO 法人の活動に携わってきた経験などを、教育委員として、どのように草津市の教育現場で活かそうとされているのか、お考えをお聞かせください。
- 小辻** うまく自分の居場所や役割を見つけられない方、場合によっては社会からドロップアウトしてしまう方、引きこもりとなってしまわれる方もいます。すべてにおいてうまくいくわけではなく、うまくいくところいかないうところすべてを包摂できていないところに課題があると思います。教育現場で色々な方と話をし、連携しながら一度失敗してもまた社会に戻れるように、社会と一緒に考える場を作るべきでそれが教育であると考えています。
- 市長** 教育現場と社会活動をしている団体や機関、人々とのつながりをどのようにつくっていくと包摂できる教育になっていくと考えておられるかお聞かせください。
- 小辻** ワークショップなどの場で、先生方や先生方をサポートしている方、関係団体などが一緒に話をし、自分の考えを言語化し足りなかった点を補い合い、みんながわからないことを知って作っていく、みんなで語り合える場が必要だと思いますが、違う立場の方々、支援者たちの話し合う場がないと感じています。違うからこそ、その違いをふまえた上で考え活動することで、少しずつでも変わる人がいれば、そこから社会は変わっていくのではないかと思います。
- 市長** 現在も、教育委員をされていますが、そのかわりの中で草津市の今の教育について、良い点、悪い点を教えてください。
- 小辻** 良い点は、ICT 含め、コロナ禍においても、様々な先駆的取り組みをされてきていて、先生方や児童・生徒に IT についてある程度の素養ができており、これからの社会にマッチした人材育成のための教育ができていると思うところです。
- 足りない点は、まだまだ教育と他の部署との連携が十分できていないところです。例えば、社会は多様性の方向に向かって変化していますが、多様性について先生方を対象としたサポートが不足していると思います。
- 市長** 他部署との連携について、どのように先生方と関わっていくのか具体的なお考えがあればお聞かせください。
- 小辻** 行政の様々な部署の職員方と先生方が多様性などについて語り合える場やワークショップを作ることがまず大事だと思います。業務多忙な中ではありますが、地域の課題や行政の取

り組みを一緒に考えてもらうことが重要だと思います。その中でこれまでの自分の活動を活かし紹介できることがあれば協力したいと思います。

**市長** 論文の中で、生きる力を育むには、「持続可能な未来のための教育」「多様性の尊重」「批判的思考の育成」「ICTの活用」「創造性の促進」も必要と書いていただいておりますが、具体的には生きる力を育むためにどのような学びが必要と考えておられますか

**小辻** 生きる力を学ぶためには、もっとアクティブラーニングを推進することが必要だと思います。この先の社会を生きていくために、多様性の在り方や価値観が変わることもあるだろうし、その場に応じた臨機応変に対応できる力、地域で活動できる力が大切だと思います。例えば、修学旅行もパッケージではなく、子どもたちに計画してもらってはどうかと考えています。修学旅行にはどのような学びがあるのか、子どもたちがオーダーメイドで作ること、子どもたちが自ら中心となって考えることで生きる力や社会や周囲を納得させられる児童・生徒の育成につながると思います。

**市長** 事例として、修学旅行で何を学ぶか子どもたちで考え、実行することも生きる力を育む方法の一つとして述べていただきましたが、決めるにあたっては合意形成が必要だと思いますが、どのように合意形成することが生きる力につながると思われますか。

**小辻** 修学旅行の日程を決めるにあたって多数決や話し合いやそのほかの方法を用いるなど、子どもたちに意見の合意形成の方法も決めてもらいます。社会に出てから、決定方法を考える力となると思います。うまくいかないことも一つの経験で、生きる力につながると思います。

**市長** 自分たちが動けば社会は変わることを知ってもらうことが大事と述べておられますが、知ってもらうために必要なやり方、手法、取り組みについて具体的なお考えをお聞かせください。

**小辻** 自分たちでつくりたいものややりたいことがあれば、アクティブラーニング、PBLといった手法を使い、課題解決を含めて進めることがよいと思います。子どもたちに、自分たちや草津にどのような課題や困りごとがあるのかを考えてもらいます。結果がたとえ自分たちの思い通りにならなかったとしても、どのような形で残ったかを知ることが大切で、自分たちが行動したら社会が変わったと体験してもらうことが重要だと思います。

**市長** 教育委員としての抱負や最後にこれだけは言っておきたいということがあればお願いします。

**小辻** 教育委員と教師の関係がまだ平等だと感じられず、同じ目線で考えていけるようになればいいと思います。考えが異なっても同じレベルで話し合えるように変えていきたいし、変わるようにしていきたいと思います。一緒に話し合える関係を築きたいと思っています。